

## 1 環境施策について

### (1) ごみ減量の課題と方向性

当新田環境センターについて、施設改修と 15 年間の包括運営業務委託を合わせて 289 億 3 千万円で落札業者が決まったと公表されました。約 111 億円で改修し、約 178 億円で 15 年間の運営を完全に民間委託するというものです。

分別と資源化の徹底でごみを減らし、焼却中心のゴミ政策から脱却することについて、市議会でも 30 年以上前から様々な議論がなされてきました。その過程で、H5 年ごろ安宅市長は 3 つ目の焼却施設となる東部クリーンセンターの完成後は、豊成の岡南環境センターの焼却炉を休止し、焼却施設を 2 施設体制とすることを宣言されていました。焼却場と隣接することが望ましいとして豊成が予定されていた西部リサイクルプラザは、豊成の焼却炉休止方針を受けて、場所が変わった経緯があります。

その後、萩原市長時代に、休止はもったいないという議会の指摘も理由に、岡南環境センターの再稼働ありきで、それまで回収していたプラスチックの焼却方針に戻り、他自治体の焼却ゴミまで受け入れ始めました。

現在、豊成には、広域ごみ処理施設が新設され、20 年間の運営費を合わせて 390 億円規模の事業が進んでいます。

ここへきて、老朽化した当新田施設を約 289 億円で 15 年延命することになります。30 年経っても 2 施設体制は実現していません。

横浜市では、人口増加にもかかわらず、ピーク時からのごみ量を半減させ、7 つある焼却施設のうち 2 施設を廃止、1 施設を休止しました。これは大きな財政効果と最終処分場の延命化につながり、世界的にも注目されています。

本市の昨年度のごみの組成分析では、厨芥類いわゆる生ごみが 42% とその割合が増えていました。生ごみは 8 割が水分です。水分を多く含むごみを高熱で焼却するという事は、コスト面やエネルギー面から大変非効率で、CO<sub>2</sub> 排出等環境問題にも逆行します。

ア この 30 年間におけるごみ減量化施策の評価と課題、今後、市はどのような方向性をお持ちなのかお示しください。

イ 焼却施設や稼働する炉数を減らすためには、具体的にどこまで減量する必要がありますか。ゴミ処理基本計画を見直していますが、10 年後、20 年後、たとえば稼働する炉を減らすなど目標を明確化し、そのためにどうするべきかを具体化していただきたいがご所見を。

ウ 当新田環境センター、広域ごみ処理施設の年間の運営費はどのように変

りますか。東部クリーンセンターの運営体制と額についてもお示しください。

エ 生ごみについては、たい肥化など資源化を進めれば、ごみの総量が半分近く減ることになりますが、岡山市の取り組みはほぼ無いに等しいと思います。289億円もあれば、焼却施設の代わりにたい肥化施設を設置運用することが可能ではないでしょうか。当新田の延命に当たってはシミュレーションなどどのような検討がなされましたか。令和5年に策定されたとする施設整備基本計画は公表されていますか。どのような市民的議論がなされたのでしょうか。

オ 東部クリーンセンターについても、今後老朽化対策が必要とのこと。どのような方針ですか。縮小することは検討されませんか。

## (2) 人工芝について

岡山市内の公園に人工芝を設置することを前提に、来年度モデル試行も検討しているとのこと。人工芝については、海洋マイクロプラスチックの一大発生源となっていることを9月議会で指摘しました。

マイクロプラスチック対策は、関連法改正で、事業者には使用抑制・発生抑制の努力義務が新たに課せられており、国は、「マイクロプラスチックの使用の抑制、飛散・流出防止の措置及びマイクロプラスチックを含有する製品の流通の状況等について調査を実施し実態を把握すること」、及び「発生抑制のための施策の在り方を検討し、必要な措置を講ずる」と位置付けられました。

ア 岡山市が現在改訂を行っている「岡山市環境基本計画」や「岡山市海洋プラスチックごみ対策アクション」において、プラスチックの流出抑制について市の責務や役割をどのように位置づけていますか。

イ 人工芝の海洋プラスチック発生リスクをどう認識されていますか。

ウ また、人工芝は夏場にコンクリートより高温になるため、低温やけどをおこす可能性がある事、メタンガス等を発生し地球温暖化を加速させること、PFASなどの有害物質を含むためアメリカでは人工芝の敷設を禁止する自治体が増えている事などが、指摘されています。市内の公園に人工芝を設置することについて、どのような議論がなされていますか。専門家の意見を聞く必要がありませんか。

エ その他スポーツ施設の人工芝流出対策を検討しませんか。

## 2 新アリーナ建設について

市長選を通じて市民の新アリーナに対する声や受け止めが可視化されたと感じています。複数の報道でも、慎重に進めるべきだと論調だったと認識しています。にもかかわらず、早々に事業化を決定したことに怒りの声が届きます。

(1) (割愛)

(2) 10月以降、市長選を経て、新たに市民の意見聴取に取り組んだ状況があればお示しください。説明会を行うという答弁もありました。具体的にはどのようなイメージですか。

(3) 先日、市民団体「おかやまアリーナビジネス活用共創プロジェクト」が行った提言の中で、競争激化で単体では採算は取れない、という趣旨の指摘があったと報道がありました。具体的に何を懸念され、何を提案されたのでしょうか。

(4) 新アリーナは、その施設収入の9割をスポーツ観戦以外で賄おうとしている施設です。プロスポーツ観戦に1万席は大半が空席になる現状で過大すぎ、エンタメ事業でないと採算が取れない営利施設。市民利用は考えていないとの答弁です。将来採算が取れない場合のリスクについてどう対応するのかお示しください。

(5) (割愛)

(6) (割愛)

(7) 寄付額の1割が手数料として集めた団体が受け取ることで、寄付額が減ります。中抜きのようなイメージです。直接寄付を募るべきではありませんか。

(8) 周辺には住宅街が近接しています。岡山ドーム側の市道の廃止により、交通可能エリアが限定されるなど、渋滞は懸念されますが、追加調査項目でしたか。駐車場台数や対策はどう考えていますか。